

製 作

人形芝居の人形

及 川 ふ み

人形芝居の人形は簡単につくられる程よい。手
軽につくられると幼児にも度々新らしいものをし
てよろこばせる事が出来る。こゝにのせた猿蟹合
戦の人形は十一月廿六日から二日間西窓學園主催
のもとに託兒所の先生方に講習したものである。

一、親蟹の作り方

親蟹の圖は紙の厚き書用紙に書きおく事、

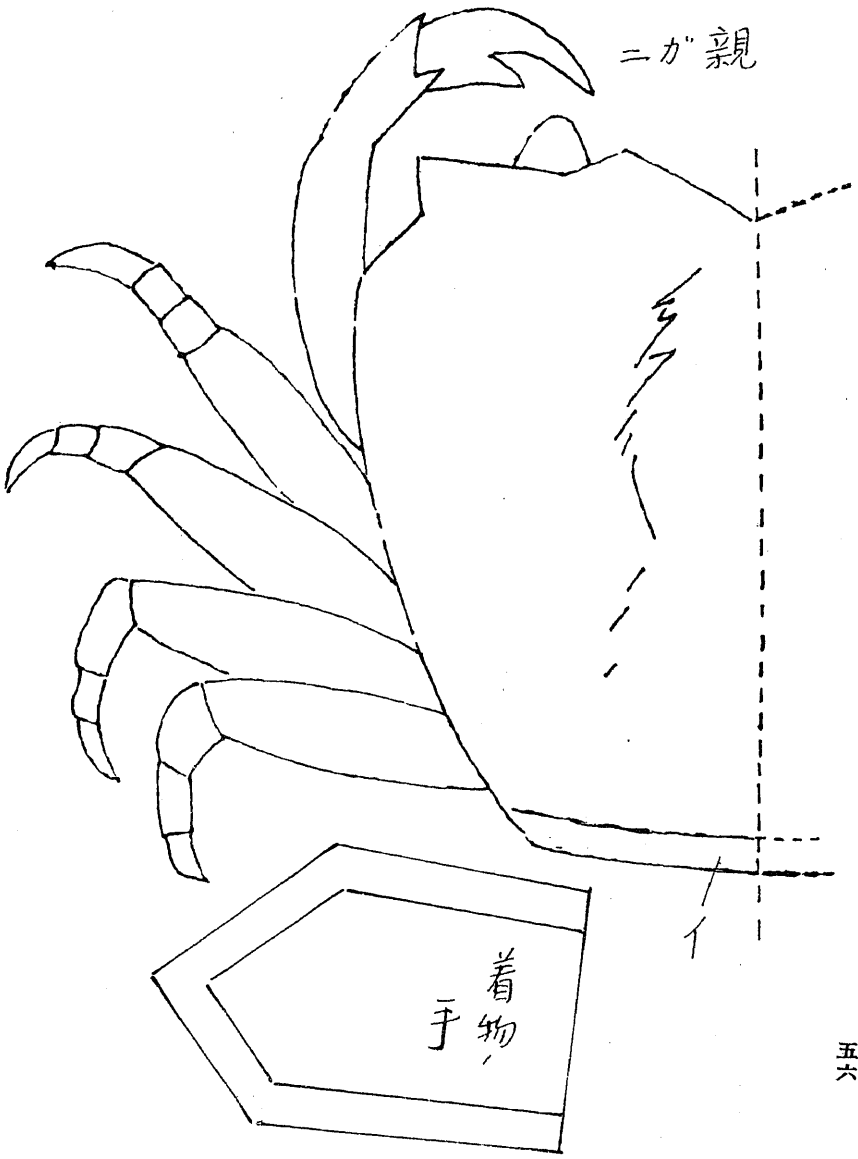
この圖の上に白模造紙をのせて蟹の胴だけを引
きうつしてその線の外側に一センチ位の間隔を
おいて更に輪廓をとつて胴を二重線で作るこ
の一センチの間はつまりノリシロとなるのであ
る。

書用紙に書いてある蟹を線によりてたちおとす
次に模造紙に引きうつしたるものをきりおとし
て一センチの間はノリシロとしてきりこみを入
れる。

模造紙の方の蟹に周圍は薄く真中ほど厚く綿を
入れてノリシロ丈け内側に折りながら糊をつけ
て綿をつむ。この糊が乾いた後に書用紙の蟹
の裏側にはりつけて綿入の蟹をつくるその時に
後部の方圖のイのところに三センチ位は糊ではら
ないでのこしておく。

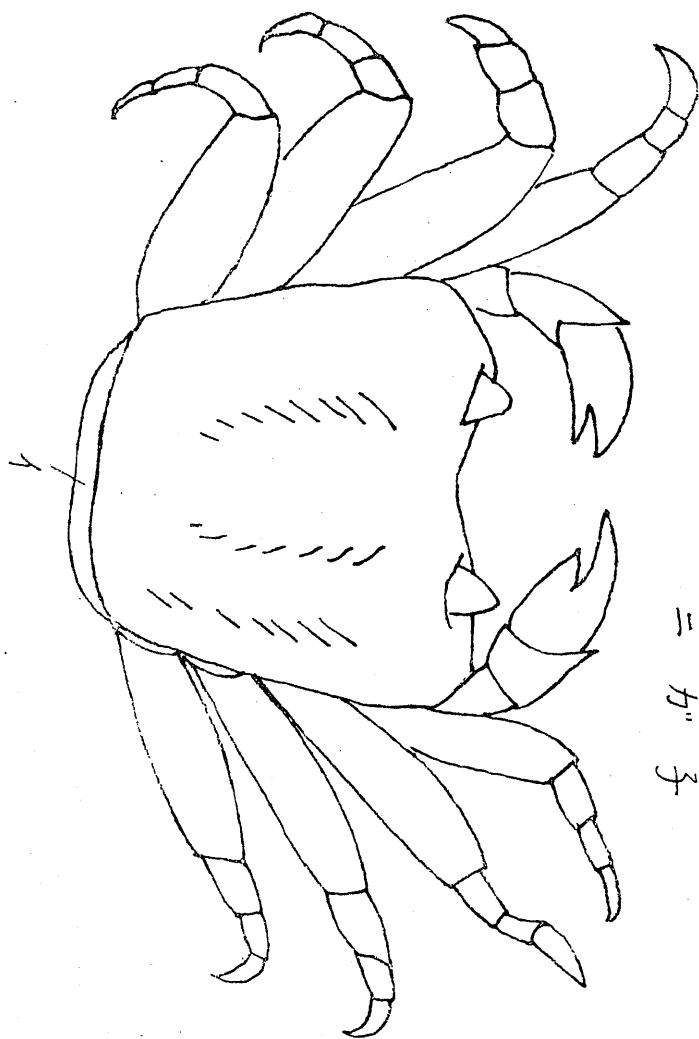
一、彩色

水繪具で蟹の目は眞黒く缺は薄墨色に塗る。

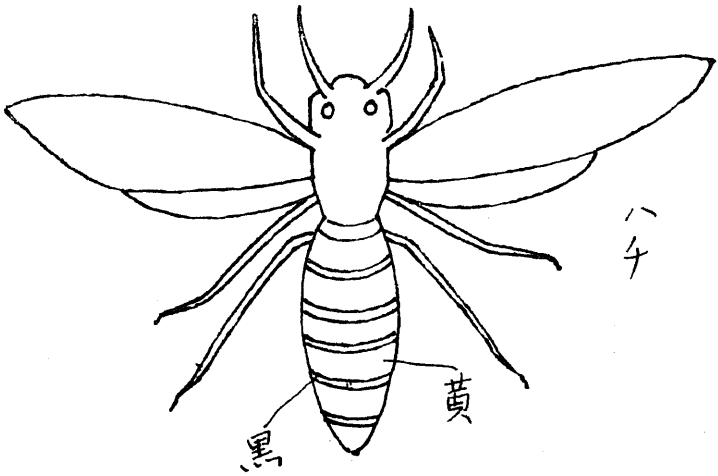


胴は甲の多少の凹凸をあらはすために軽く陰を

つけて橙色にぬる。

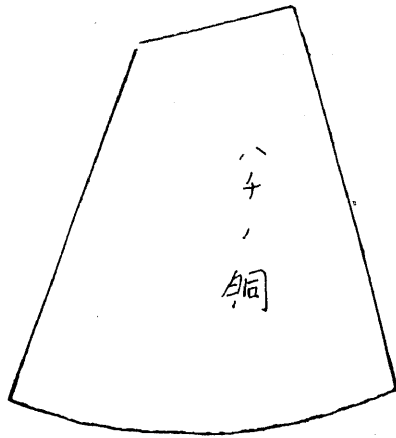


一、子蟹の作り方
親蟹の作り方に同じ

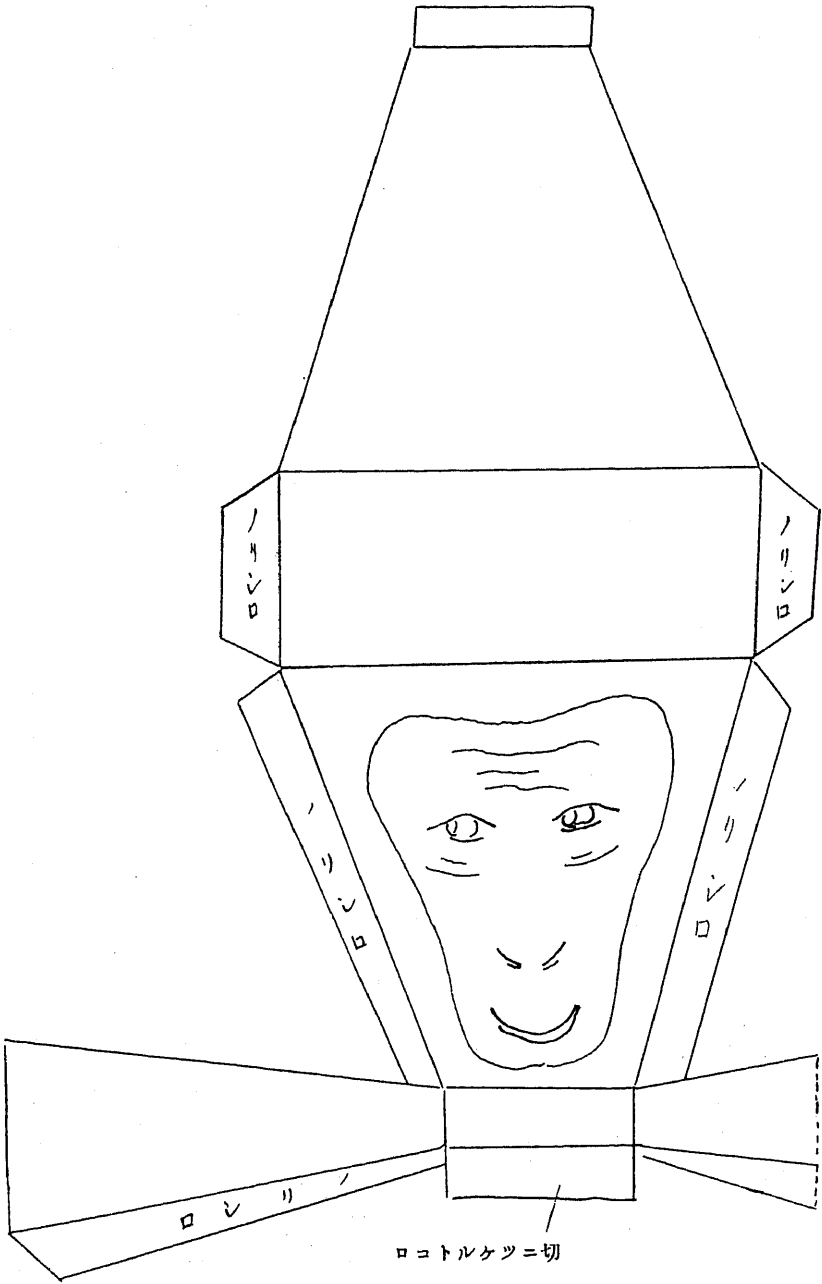


一、蜂の作り方

蜂は畫用紙に畫きたるものを切りとつて足と眼は黒く塗り羽は薄墨色にぬつて胴は黄色のかつた茶色に塗る下部横線は黒くぬる



圖のハの形は切りぬきて上部は細く下部は人さし指の入る丈の太さにして管をつくる。細き方は蜂の頭の方に、太い方は蜂の尾の方にして、この管の上に蜂の形をとつた畫用紙をはりつける

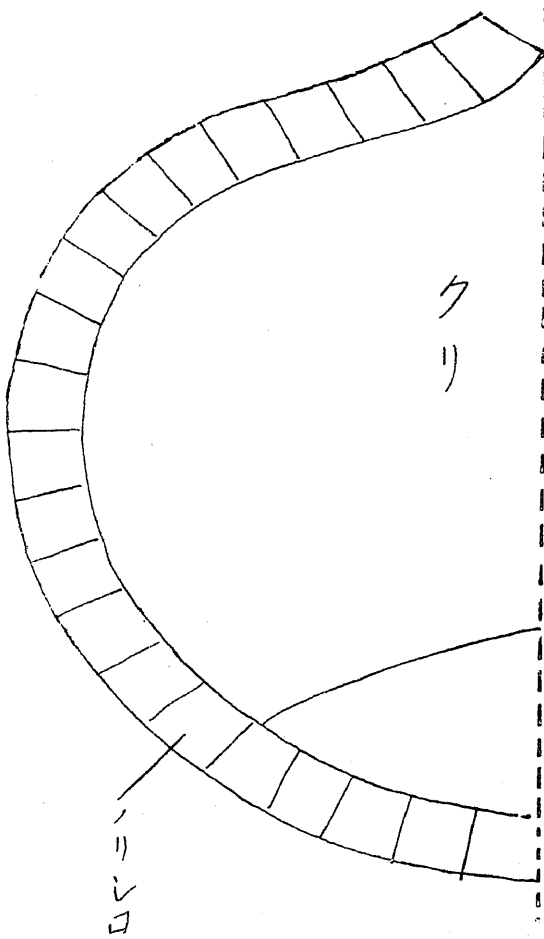


五九

ロコトルケツニ切

一、栗の作り方

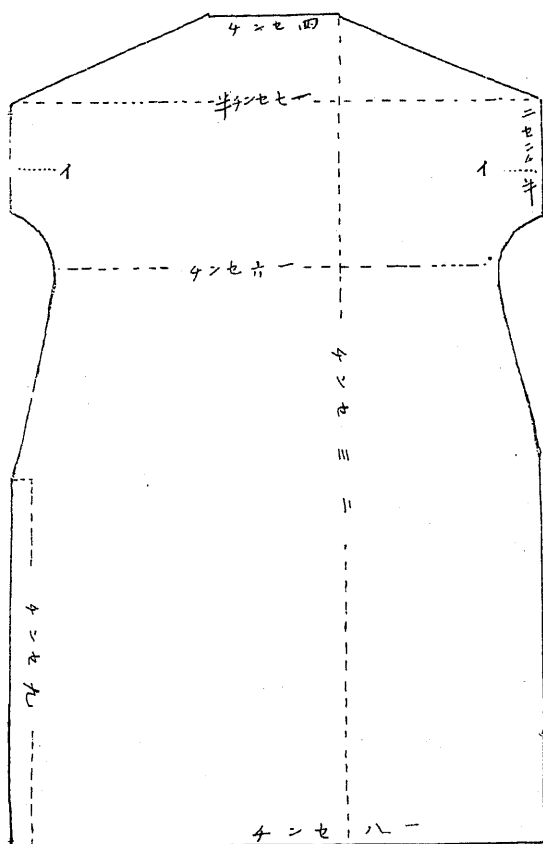
栗は二重の線の外側を切りおとしノリシロに切りこみをいれて綿を入れて後側は模造紙をあてて底の方を三センチほど離して残りは全部はり合せる



栗の上部は栗色に下の方は黄色に少し茶色を交せてぬり乾いた後で茶色で點々をうつ
白の作り方

畫用紙にて直径一〇センチ高さ七センチの圓筒をつくつて下の方丈け直径一センチ八ミリ位穴

を中央にあけておく
この穴に一ぱいになる圓筒を六センチ位の長さにつくり穴の内の一センチ位さしこみたる内部はきりこみを入れて白の内部分へはりつけておくこれは圓筒の一部分が出来た時につけておく白の全體は鼠色をぬる。



一、お猿の作り方

お猿の圖の通り畫用紙に畫き糊代をはり合せて内部に綿を入れる指を入れるところは頸の下部でなく後部の下を半センチばかり糊をはずすにのこしておいてこれに着物をつける。

お猿
栗 茶
蜂 緑
白 黄
手 白
水彩
挿繪は着物の他は全部實物大であります。

顔の輪廓の内部丈け紅色にぬり残り全部茶色にぬる。
着物は長さ五〇センチ幅二四センチの新モスの切を二つに折り型紙の如く裁ちイの部に手をつける。
手の型を二つ合せて中に綿を入れて胴にぬいつける。
着物の色
親蟹 橙色
子蟹 赤